

幼児期（4歳～6歳）の金融教育は？

～ママFPのひとりごと⑩～

ファイナンシャルプランナー 鈴木さや子

先月は乳幼児期（0歳～3歳）の金融教育について、以下の4つのポイントを書きました。

①親自身の価値観を確認しよう

…お金に対して持っているイメージ・価値観の確認、親自身の生活習慣の見直し

②夫婦の意見交換と方向性の統一

…どんな子に育てて欲しいか。何歳になるまで親が金銭的な負担をする？など価値観の棚卸を。

③お金を大切にすることを教えよう

…親の財布を勝手に触らない。お金で遊んではいけないと教える など。

④モノは降ってくるものではないことを教えよう

…モノは、両親が働いて得たお金で手に入れていることを教える など

金融教育は、乳幼児期の頃からでも意外とできることがあるのだ、ということがお分かりいただけたいと思います。今回は、少し大きくなった4歳～6歳の幼児期における金融教育のポイントをまとめます。

1. お金の役割を教えていこう

4歳ごろになると、親と一緒に買い物にいったり、お金を払ってモノを手に入れる体験もだいぶ増えてきます。買い物をしながら親子でコミュニケーションをとって、少しずつお金の役割を教えてあげましょう。

<お金の3つの役割>

・お金を使うと「モノやサービスと交換できる」

お金はモノやサービスと交換するときの手段として使われます。お金があるから、いつでも好きなモノやサービスと交換して（買う）手に入れることができるのです

・お金は「貯めること」ができる

お金は貯めることで、将来のためにとっておくことができます。お金はモノと違って、腐ったり古くなったりすることがありません。そのため沢山貯めていくことで、高い価値のモノと交換したりすることができるのです。

・お金で「モノの価値をはかること」ができる

同じモノやサービスであっても、お店によっては値段が異なります。あらゆる商品には「いくら」という価値が決められており、「円」というお金でその尺度を測ることができます。お金を使うこ

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

とによって、どちらの店がいくら安いといったように、比較することもできるのですね。

2. お金はどこからきて、どんなことに使っているか教えていこう

クレジットカードや電子マネーで買い物が出来たり、ネットスーパーなどインターネット経由でクリックするだけでモノが買えたりと、とても便利な世の中になりました。ところがこのことで、子どもたちの目に、現金が動く姿が触れることが昔よりも少なくなっています。しかも、子どもの目にはクレジットカードやパソコンが、モノがもらえる魔法のアイテムに映っていることも。生のお金に触れ、お金の流れを感じることは、世の中のお金の動き、経済の仕組みを次第に理解していくことができる大切な体験。大人の我々にとって便利な世の中も、子どもの金融教育という視点では、弊害にもなりかねません。子供は、お金が実際に動いてお財布から減っていることを見るうちに、「お金を使うことでモノが入ること」を次第に実感していくのです。

そこで、なるべく子どもの前では、クレジットカードや電子マネーを使わず、現金で買い物をするなど、以下の点を意識されてみてはいかがでしょうか。

- ・子どもと買い物をする時は、なるべく現金決済をする
- ・電子マネーはオートチャージにせず、子どもと一緒に機械を使ってチャージする
- ・ネットスーパーを利用する時には、子どもにも「パソコンで買い物する場合、マウスでクリックすると、銀行からお金がなくなって、モノが買える」システムをわかりやすく説明する

日ごろの親自身の心がけひとつで、子どもにとっての「お金」の認識度合いが大きく変わります。

3. 「お財布忘れた」はNGワード

外出先で子どもに「お菓子買って」「ガチャガチャやって」とダダをこねられ、「お財布忘れちゃったから出来ない」と説明したことのあるママは多いのではないのでしょうか。こう説明すると子どもは「お財布を持っていたら買ってもらえた」と理解し、この経験の積み重ねで「欲しいと言えば買ってもらえる」と思ってしまいます。ダダをこねられた時は、金融教育のいい機会！買えないのであれば、なぜ買えないのか、理由をきちんと説明しましょう。そして根負けしないこと。そして我慢できたらいっぱいホメてあげたいものですね。ちなみに我が家では娘が幼児期の頃、「今日はガチャガチャをする。でも代わりにお菓子は我慢する」などと、あらかじめ決めて出かけた日に限り、ごくたまにさせてあげていました。

イヤイヤ期を過ぎてさらに自我が発展する幼児期は、ママにとっても大変な時

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.

《今月のお気に入り曲》

交響曲第3番『オルガン付き』
／サン＝サーンス作曲
壮大なパイプオルガンの響き
が実に聴衆を魅了する名曲。演奏時には、背後のパイプオルガンから発せられるうっとりする和音で泣きそうになります。

期ではありますが、子どもの理解力も高まるので、金融教育に本格的に着手できる時期と言えます。
「お金の大切さ」を教えるために、親子でしっかりコミュニケーションを取りたいものですね。

—コラムの無断転写・転載などを禁じます。—

Copyright©2012 Skirr Japan Corporation. All Rights Reserved.